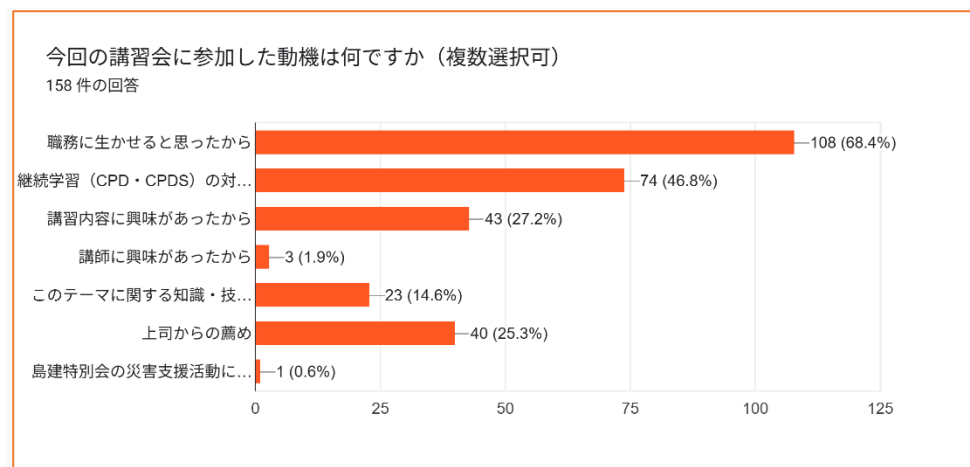


令和7年度『災害復旧実務講習会』受講確認シート集計結果

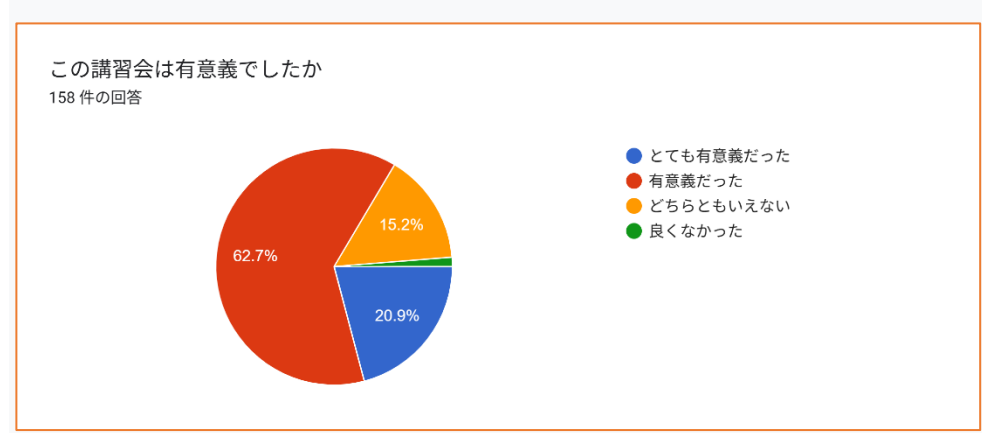
1. 参加状況

区分	当初申込み	受講可人数	参加者	出席率
県	14	14	12	85.7%
市町村	27	27	26	96.3%
建設業	56	56	56	100.0%
コンサルタント	115	115	105	91.3%
その他	6	6	6	100.0%
計	218	218	205	94.0%

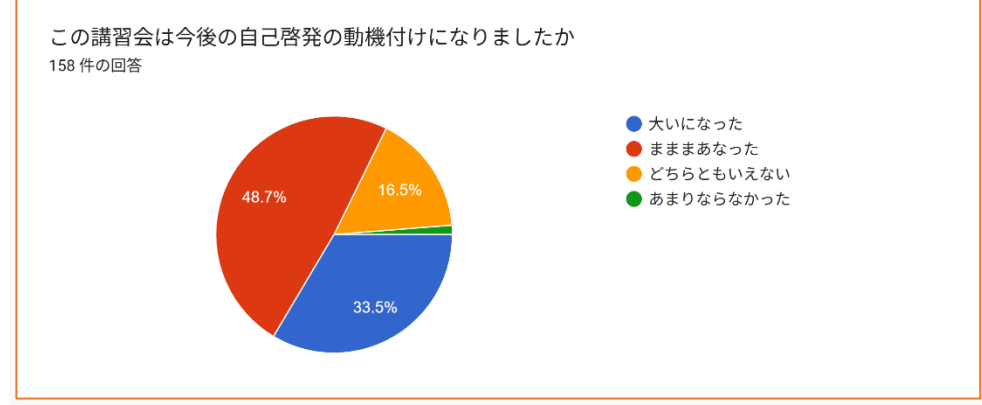
2. 今回の講習会に参加した動機は何ですか（複数選択可）



3. この講習会は有意義でしたか



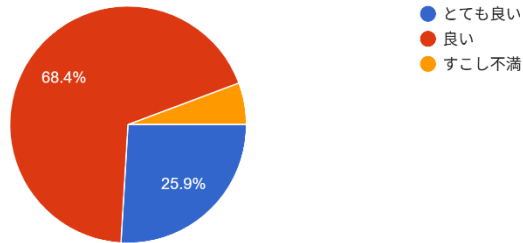
4. 今後の自己啓発の動機付けになりましたか



令和7年度『災害復旧実務講習会』受講確認シート集計結果

5. 講師について意見がありますか

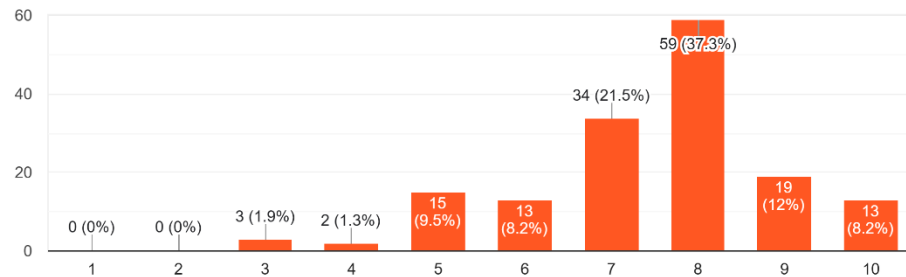
講師について意見がありますか
158 件の回答



6. この講習会を評価すると 10 点満点で何点ですか

AVE: 7. 5

この研修会を評価すると、10 点満点で何点ですか
158 件の回答



評価した内容について理由があれば記入して下さい

- 災害対応に関して、参加しておかないと対応時に不備が生じるため参加が必須であるように感じられなかったため

- わかりやすかった。
- 参考になることが多かった。
- 最新事例がありわかりやすい
- 発注者、コンサル、建設業者の誰に対しての研修か分からないため、それらを明確にし、特化した研修にしたらいと思います。
- もう少し災害査定における留意点（会計検査で指摘された事項や査定時に注意する事項等）を細かく聞けると良かった。
- リモートの画面配置が小さい
- 被災現場等の作業及び写真撮影などの講義を期待していた
- 今後の役に立ちそう
- 県道大社日御碕線の災害事例をドローン写真等を活用して説明されたところは、初めて見るものにインパクトを与えるものである。今後もICTを活用した災害対応を期待したいところである。
- 時間が丁度よく、配布資料が充実していた。
- 講義の内容は受注者向けではなく、発注者向けであったため。
- 事例紹介は短くても良いと思います
- 色々な情報を得られたこと
- 受注側、発注側で必要としている情報が違うので評価は難しいです。自身が求めている内容ではなかったとしても 1 つの知識として身につけることができたので結果的には受講して良かったと思っています。

令和7年度『災害復旧実務講習会』受講確認シート集計結果

7. この講習会全体を通じて感じたこと、要望、提案等率直な意見を記入してください

- 立会官の方がどういう視点で災害査定を行っているかについて、もっと詳しくきければよかった。
- 発表者がマスクを着用して話されると聞き取りにくかった。出来ることならマスクを外して発表してもらいたい
- 今回の講習会はコンサル、施工業者、行政職員等色々な分野の方が出席していたが、対象をしぼってより専門的な内容についての講習があればいいのではないかと思った。
- 最後に講義があった、大社日御碕線の災害復旧事業といった大規模災害の復旧工法や災害査定に関する話に興味があったため、そういった話題を中心とした講習会があれば受講してみたい。
- 島根県の災害査定の実施状況資料は、もっとまとめたら資料内容が少なくてすむと思いました。
- 内容について、自治体向けなのか、業者向けなのか、よく分かりませんでした。
- 今年4月に新規採用されたばかりで知識が乏しく少し難しく感じたが、災害が起きてから調べるのでは迅速な対応ができないため、どこに連絡するべきか知ることができただけでも有意義な講習だった。
- 本日の講義は、災害査定以降の項目が多かったと思う
- 国交省、財務省、島根県からそれぞれ講師を招いて講義を行っていただいたことは、非常に貴重なことであり、なかなかできないことである。今後も引き続き実施していただき、その都度、最新情報をご提供いただきたい。
- 浜田会場オンラインの画面がフルで大きいと見やすいと思います。
- 災害の測量や設計に関わる内容を充実させていただきたい。
- 査定に関する内容に偏重しておりコンサル、施工業者としては業務に反映させられる内容に限られる。
- 災害査定における統一事項の改定に関する解説を取り入れて欲しい
- 大社日御碕線復旧については、災害場所が国立公園に隣接し、筆投げ岩などが点在する風光明媚な海岸線が連なっていることから、海岸景観に調和した整備内容とすることも重要と考えます。
- 災害が発生した際に即座に対応して頂きたいため、知識、手順を熟知しとして頂きたい。
- 受注側、発注側で必要としている情報が違うので評価は難しいです。自身が求めている内容ではなかったとしても1つの知識として身につけることができたので結果的には受講して良かったと思っています。

令和7年度『災害復旧実務講習会』受講確認シート集計結果

8. 今後講習会に取り入れてほしいテーマ・内容があれば記入してください

- 河川計画全般、特に河口付近における河川計画について
- 災害手帳の改訂点など
- 技術的な対応方法等に特化したもの
- 対策事例
- インフラDX
- 写真撮影(道路、河川、林道、農地)サンプル資料の提供、災害伐採の範囲、実施要領、簡素化平面図等の成果サンプルなど
- 農林災害も取り入れて欲しいです。
- 災害査定に役立つ事例紹介があるとよい。
- 会計検査での指摘事項と対応
- 建築物に関して。

9. 今後「島根県建設技術センター」に取り組んでほしい内容や開催してほしいイベントがあれば記入してください

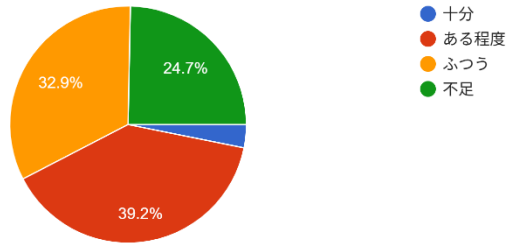
- 現場見学会
- 失敗事例や会計検査指摘事例など業務に生かしたい
- 新技術の導入に係る講習
- コンクリートのプリキャスト化
- 災害に対する、県の実写真サンプル、平面図(見取り図)、伐採の実施要領、精算などの統一成果品の見本作成、配布(実測平面図?被災箇所の伐採程度、集草作業)
- 今回のような無料で受けられる講習会がもっとあれば、CPD取得者にとって非常にありがたい。
- 島根県の工事現場の見学会
- 市町村によって災害写真や図面について求められる内容が異なるため統一できるような講習等を実施していただきたい。
- デジタル技術の一步踏み込んだ具体的な活用方法。

令和7年度『災害復旧実務講習会』受講確認シート集計結果

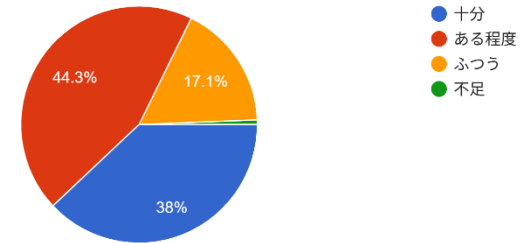
令和7年度『災害復旧実務講習会』受講確認シート集計結果

10. 講習会科目「災害復旧事業に係る最近の話題」について

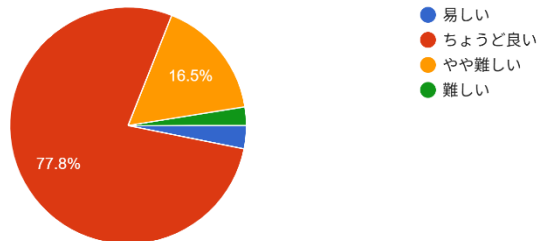
「災害復旧事業に係る最近の話題」について受講以前に内容を知っていましたか
158 件の回答



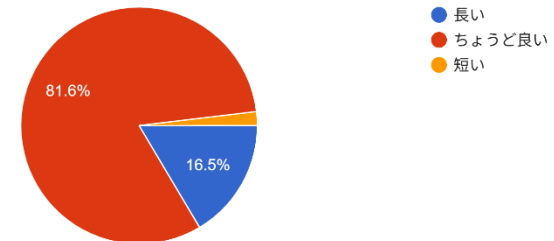
「災害復旧事業に係る最近の話題」のテキストなど教材は充実していましたか
158 件の回答



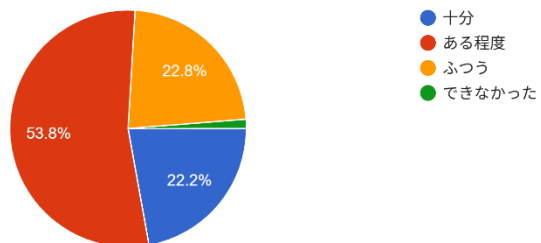
「災害復旧事業に係る最近の話題」の講義水準はどうでしたかしたか
158 件の回答



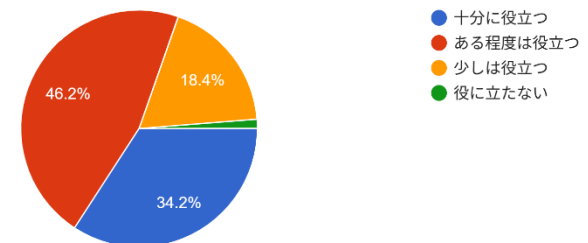
「災害復旧事業に係る最近の話題」の講義時間は十分でしたか
158 件の回答



「災害復旧事業に係る最近の話題」の内容について理解できましたか
158 件の回答



「災害復旧事業に係る最近の話題」は今後の仕事に役立ちますか
158 件の回答



令和7年度『災害復旧実務講習会』受講確認シート集計結果

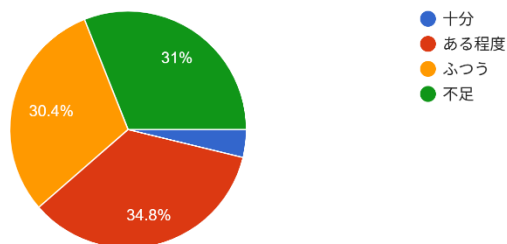
「災害復旧事業に係る最近の話題」の意見・感想・要望・質問があれば
記入ください(意見・感想・要望・質問)

- 本日はありがとうございました。
- 河川災害時の工法選定では美山河の基本方針により、護岸については環境保全ブロックで復旧していますが、例外として重要種(オオサンショウウオ等)が生息している場合においても環境保全ブロックはから空積みでもあり、例えば転石等の流出によりブロックが被災し、また越水等により中詰めが流出するため、ブロックのみが自立して残っていることなどから、通常の間知ブロックを採用しています。他県におけるこのような事例の場合の対応と基本的考え方があればご教授ください。よろしくお願いします。
- 令和7年度からの改訂事項がわかり良かったです。
- 簡素化査定や災害復旧技術専門家の派遣等、参考になる話題が多かった。
- ありがとうございました
- 聞き易かった。
- 最近の業界の現状を把握できてよかった。
- 災害手帳の改正などの内容も聞けたらよかった
- 重変から軽変となった内容が聞けて良かった
- この講義では最後のところで災害復旧事業で良く誤解されていることを紹介された。これは現場担当者にとってこれまで思い込んでいたことを覆される内容であり、もっと早く知りたかったという人が多いことと思う。これからもこのような内容を盛り込んでいただけるとありがたい。
- 要点が非常にわかりやすかった。
- 参考になりました。
- デジタル技術の活用について講義のお話を聞きたかった。

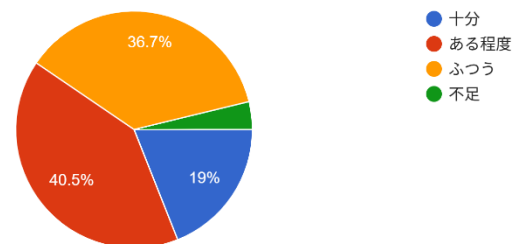
令和7年度『災害復旧実務講習会』受講確認シート集計結果

11. 立会官からみた災害査定の留意点について

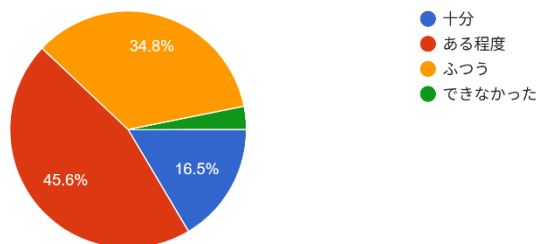
「立会官からみた災害査定の留意点」について受講以前に内容を知っていましたか
158 件の回答



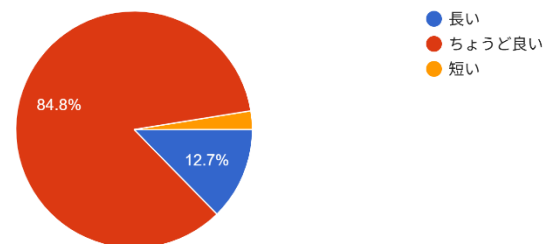
「立会官からみた災害査定の留意点」のテキストなど教材は充実していましたか
158 件の回答



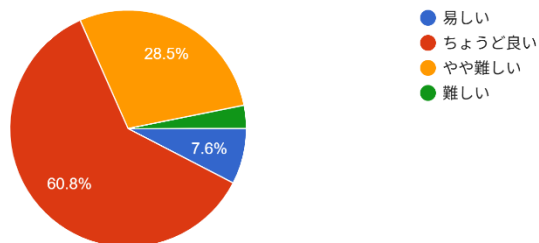
「立会官からみた災害査定の留意点」について理解できましたか
158 件の回答



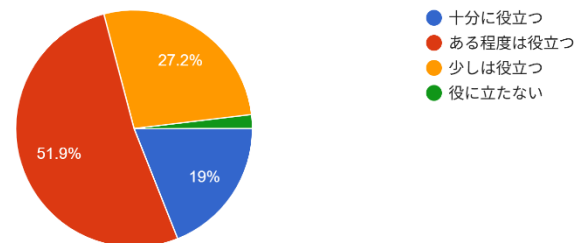
「立会官からみた災害査定の留意点」の講義時間は十分でしたか
158 件の回答



「立会官からみた災害査定の留意点」の講義水準はどうでしたかしたか
158 件の回答



「立会官からみた災害査定の留意点」は今後の仕事に役立ちますか
158 件の回答



令和7年度『災害復旧実務講習会』受講確認シート集計結果

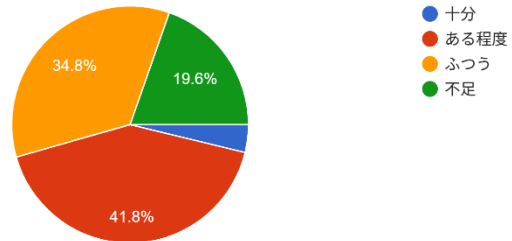
「立会官からみた災害査定の留意点」の意見・感想・要望・質問があれば記入ください(意見・感想・要望・質問)

- 考え方が理解できた。
- 復旧について多様な視点から見る動機付けになりました
- ありがとうございました
- タイトルにある査定時の留意事項がメインで聞きたいのにボリュームが少ない。どういう指摘をして、どうだったのか結果までが聞きたい。
- 時間が短かった。
- 財務省らしい講習でした
- この講義では、事例検証として実際の災害査定現場で立会感が疑問に思うことを示していただき、現場に携わる者にとって非常に参考となるものであった。今後もこのような内容を入れていただけると、即実践できると思う。
- 立会官の視点がよくわかった。

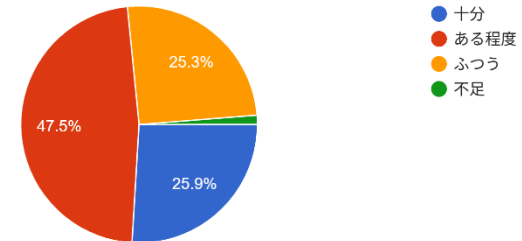
令和7年度『災害復旧実務講習会』受講確認シート集計結果

12. 島根県の災害査定の状況等について

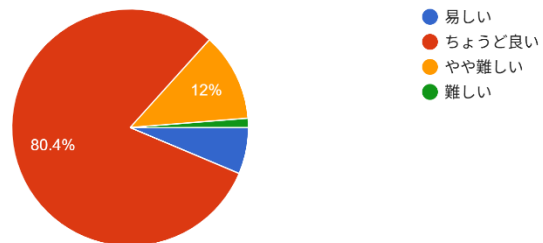
「島根県の災害査定の状況等について」受講以前に内容を知っていましたか
158 件の回答



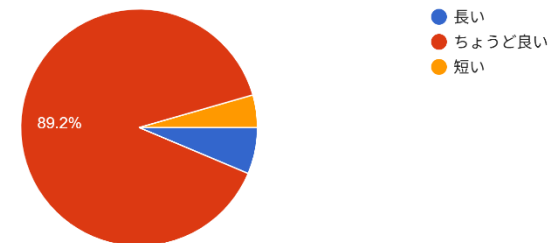
「島根県の災害査定の状況等について」のテキストなど教材は充実していましたか
158 件の回答



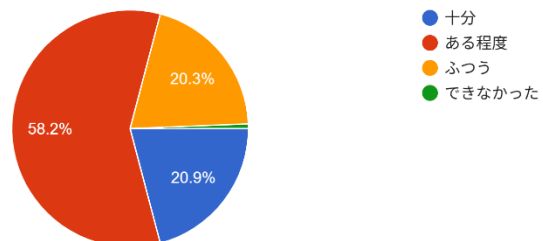
「島根県の災害査定の状況等について」の講義水準はどうでしたかしたか
158 件の回答



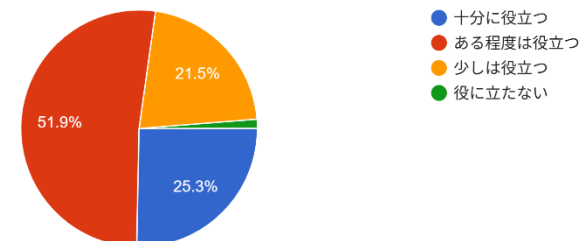
「島根県の災害査定の状況等について」の講義時間は十分でしたか
158 件の回答



「島根県の災害査定の状況等について」理解できましたか
158 件の回答



「島根県の災害査定の状況等について」は今後の仕事に役立ちますか
158 件の回答



令和7年度『災害復旧実務講習会』 受講確認シート集計結果

「島根県の災害査定の状況等」の意見・感想・要望・質問があれば 記入ください(意見・感想・要望・質問)

- 災害費用が今後は、増えてきそうに感じた。
- 応急処置や復旧工法の詳細が知れて、参考になった。
- 査定締め切りの柔軟化 被災後から現地測量設計の時間が取れるように役所側のスピードや効率をあげて欲しい。現地の調査設計図面作成の期間が取れてない
- 質問があります。
 1. P4 では、地滑り 2 か所なのに P9 地滑り 空白の意味を教えてください。
 2. 大社日御碕線災害:P16 擁壁部分になぜポラメッシュを採用した理由について、可能であれば、教えて頂きたいです。疑問点は、
 - ①補強土の形状が逆台形なので、耐地震力ついての、転倒について不安を感じました。(高さが 8m以下なので、地震時の検討を行っていないからとも思いましたが、重要性から地震時検討は、必要と思っております。)
 - ②底面の幅が狭いので、滑動についても懸念を感じる。(擁壁部分の背面は、鉄筋挿入工で補強しているので、もっと急勾配にして底面幅を広くして滑動に対する安定性を向上できる工法の方が適しているのではないか?)ポラメッシュ工法の知識不足で的外れの質問をしているかもしれません。そうであれば、ご容赦ください。お手数をおかけしますが、回答 よろしく願いいたします。
- 計画に関する情報をもう少し欲しかったです
- 日御碕の復旧方法や進捗を聞くことができ勉強になった。
- (主)大社日御碕線の災害復旧事業や道路啓開計画の策定、大変お疲れさまでした。

- 講師の方が言っておられた陸海空による半島部の事前防災をヒントに、島根県では面積の多くが中山間地域であることを踏まえ、中山間地域での事前防災(優先順位を考慮した計画的なハード対策はもちろん、ソフト対策:避難経路や避難場所の水害・耐震対策、備蓄、通信手段の確保)を市町村との連携を確認しながら、きめ細やかに検討し、高齢者も含め誰一人取り残さないような対策を最終的には準備しておくことが必要だと思いますので、強力なリーダーシップを発揮され、部局、市町の壁を取り払って引き続き進めていただくことを願っています。
- 講義の中で島根県の災害査定の実施状況を示していただき、7～8年おきに大きな災害が起きていることが把握できた。特に昨年の県道大社日御碕線の災害では多くの人が不安を抱えることとなったが、適切な対応をしっかりと行っていたいていたんだということがわかり、安心したところである。
- 近年の状況、対応の概要がよくわかった
- テキストの訂正の対応をもう少し丁寧にしてほしかった。

令和7年度「災害復旧実務講習会」質問表

2025/04/24開催

項目	「災害復旧事業に係る最近の話題」	
講師	国土交通省 水管理・国土保全局 防災課 防災政策調整官 西田 将人 氏	
①	質問者	受講番号215（会場）
	質問	Q「資料P36の設計変更における『軽微な変更』対象拡大」の適用は過年度を含めてR7.4以降に相談するものから適用か、それともR7.4以降に発生した災害に対して適用となるのか。
	回答	これについて、改めて内部で確認したところ、前者が正解です。過年度に発生した災害でもこれから設計変更が発生する場合は対象拡大した案件については軽微な変更の扱いとなります。
	質問者	受講番号90
②	質問	本日はありがとうございました。 河川災害時の工法選定では美山河の基本方針により、護岸については環境保全ブロックで復旧していますが、例外として重要種(オオサンショウウオ等)が生息している場合においても環境保全ブロックはから空積みでもあり、例えば転石等の流出によりブロックが被災し、また越水等により中詰めが流出するため、ブロックのみが自立して残っていることなどから、通常の間知ブロックを採用しています。 他県におけるこのような事例の場合の対応と基本的考え方があればご教授ください。よろしくお願いいたします。
	回答	基本的な考え方として、被災箇所及び被災箇所の周辺で重要種が生息している可能性が高い場合には災害復旧の範囲内で特別な配慮を行うことが重要です。特に河川を大規模に改変する場合には、専門家の意見聴取を行い、それに基づいた現地調査を行うことが望ましく、河川管理者はこれらを総合的に判断してA表の記入を行うことが重要です。 事例については、網羅的に把握はしていませんが、工事実施後、重要種への配慮が不十分とのことで、専門家より重要種の配慮を求める意見を頂き、寄せ石など環境に配慮した対策を有識者会議を立ち上げて検討していく予定の事例があることは承知しております。 災害復旧事業の実施にあたり環境配慮ブロックの設置が適当でない場合においても、専門家の意見聴取を行い、可能な範囲で重要種へ配慮した対策を検討していただきますようお願いいたします。

項目	「島根県の災害査定状況等について」	
講師	島根県土木部 道路維持課 道路防災係 課長補佐 佐藤 啓介 氏	
③	質問者	受講番号117
	質問	質問があります。 1. P4では、地滑り2か所なのに P9地滑り 空白の意味を教えてください。 2. 大社日御碕線災害:P16 擁壁部分になぜボラメッシュを採用した理由について、可能であれば、教えて頂きたいです。 疑問点は、①補強土の形状が逆台形なので、耐地震力についての、転倒について不安を感じました。 （高さが 8m以下なので、地震時の検討を行っていないからとも思いましたが、重要性から地震時検討は、必要とっております。） ②底面の幅が狭いので、滑動についても懸念を感じる。 （擁壁部分の背面は、鉄筋挿入工で補強しているので、もっと急勾配にして底面幅を広くして滑動に対する安定性を向上できる工法の方が適しているのではないかと？） ボラメッシュ工法の知識不足で的外れの質問をしているかもしれません。 そうであれば、ご容赦ください。 お手数をおかけしますが、回答 よろしく願いいたします。
	回答	1. P9は公共土木施設毎の被災状況を整理したものであり、令和6年度は地すべり防止施設の災害は発生しなかったため、空白としています。なおP4は被災原因別毎に整理しており、ご指摘の2箇所は道路が地すべりによって被災した箇所数となっております。 2. 復旧工法の決定にあたっては、実現可能な工法のうち、経済性、施工性等を総合的に検討し、高排水性垂直擁壁(ボラメッシュ)＋地山補強(ルートパイル工法)を採用しています。 採用にあたっては、地震時の検討も行い、支持、滑動、転倒に対し許容値を満足していることを確認しています。



